



デジタルノギス 収納ケース付

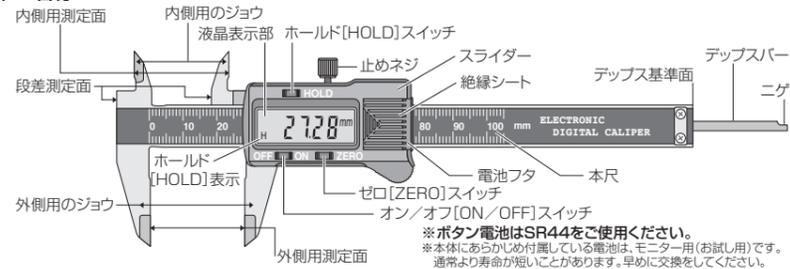
DIGITAL CALIPER [取扱説明書]

SDV-100 / SDV-150

本製品を正しくご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。また、この取扱説明書は大切に保管し、ご使用前には、読み返してから作業を行ってください。

- 用途 ●外側測定 ●内側測定 ●深さ測定 ●段差測定 ●比較測定 ●間接測定
- 特長 ●測定値を瞬時にデジタル表示することができ、目盛りを読み取る必要がありません。
- ゼロセット機能の活用により、比較測定、間接測定ができます。
- 設定した値の表示を固定できる便利なホールド機能付

■各部の名称



※ボタン電池はSR44をご使用ください。
 ※本体にあらかじめ付着している電池は、モニター用(お試し用)です。通常より寿命が短いことがあります。早めに交換をしてください。
 ※ボタン電池の間には、絶縁シートが挟んであります。使用前には必ず取り外してください。

■使用上の注意

●表示用途以外に使用しないでください。●測定面先端やデップスバーは鋭利です。ケガをしないよう注意してください。●使用前に汚れ、ホコリ等を拭き取り、故障等の無い事を確認してください。●乱暴な取り扱いはいけません。落としたりぶつけたりした時は正確な数値が測定されることの確認をしてからご使用してください。●分解や改造は絶対にしてはいけません。正常に作動しなくなります。●水に濡らしたりシンナーなど、溶剤で拭いたりしないでください。故障の原因となります。●使用後はスイッチをOFFにし、高温多湿にならない場所及び直射日光の当たらない場所に保管してください。●子供、幼児には絶対に触らせないでください。●ボタン電池や小さな部品は、キケンですので絶対に口などに入れないでください。万一、飲み込んだりした場合は、すぐに医師の診断を受けてください。●1ヶ月以上使用しない場合は電池を取り外してから保管してください。電池の液漏れにより、本体が故障する恐れがあります。●電気に触れるような場所での使用はしないでください。●磁気の発生するような場所での使用はしないでください。●強い電磁ノイズを発生する蛍光灯、IH調理器、電子レンジ、TV等の近くでお使いの場合誤動作する場合があります。強い電磁ノイズを発生する機器から離してお使い下さい。●強い電磁ノイズを発生する蛍光灯、IH調理器、電子レンジ、TV等の近くでお使いの場合誤動作する場合があります。強い電磁ノイズを発生する機器から離してお使い下さい。

■電池の交換方法

電池フタを矢印方向にスライドさせるとフタが外れますので、新しい電池と交換してください。

■故障かなと思ったら

症状	原因	対策
●スライダーを動かしても表示が変わらない。	①ホールド機能が作動している。 ②内部回路にトラブルが発生。	ホールドボタンを押して、ホールド機能を解除してください。 本体より電池を取り出し、約30秒以上経過してから入れ直してください。
●ONボタンを押しても、ディスプレイに表示がない。	①電池寿命です。 ②電池の接触不良です。	電池を新品に交換してください。 電池を取り出し、位置を調整して入れ直してください。
その他の症状		
●表示が約1秒間で点滅する。	電池容量が少なくなっています。	電池を新品に交換してください。
●誤差の範囲が大きくなった。	①内部センサーの汚れ。 ②内部回路の異常。	本製品をお買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
●正確な値を表示しない。		

■仕様

規格品番	SDV-100	SDV-150
測定範囲	0.01mm~100mm	0.01mm~150mm
デップスバー	有り	有り
本体材質	ステンレススチール SUS420J2	ステンレススチール SUS420J2
表示部材質	スライダー:ABS樹脂	スライダー:ABS樹脂
器差	外側測定/±0.03mm 内側測定/±0.05mm	外側測定/±0.03mm 内側測定/±0.05mm
最少読取値	0.01mm	0.01mm
繰り返し精度	0.01mm	0.01mm
使用温度	5~40℃	5~40℃
保存温度	-10~60℃	-10~60℃
保存湿度	80%以下	80%以下
電池	ボタン電池 SR44 1個(モニター用電池)	ボタン電池 SR44 1個(モニター用電池)
電源オート ON/OFF機能	有り	有り
電池絶縁シール	有り	有り

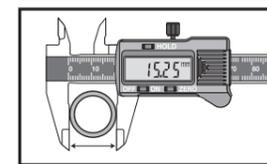
発売元
藤原産業株式会社
 兵庫県三木市福井2115-1
 TEL.0794-86-8200

■使い方

- ①電源の「入/切」はオート機能です。
 ※スライダーを動かすと自動で電源が入ります。
 ※何も操作をしない状態で約5分間経くと電源が切れます。(オートOFF)
- ②ジョウを完全に閉じた状態で、ゼロ(ZERO)スイッチを押してください。液晶部に「0.00」と表示され、ゼロセットされたことを確認してから測定作業を開始してください。
- ③測定した値を表示固定する場合は、ホールド(HOLD)スイッチを押してください。液晶部に「H」マークが表示され、値が固定されます。もう一度押すとホールド機能は解除されます。
- ④使用後は必ず、OFF/ONスイッチを押して、電源を切ってからケースに入れて保管してください。電源を入れたまま保管すると、電池消耗や液漏れの原因となります。
- ⑤値が「0.00」のときに「-0.00」と表示されることがありますが、この場合、マイナスは無視してください。
- ⑥使用前に電池保護用の絶縁シートを外してください。

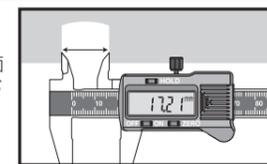
●各測定方法の使用例及び注意
 ※測定時に無理に力を加えないでください。正しい測定値が出なくなるおそれがあります。

■使用例



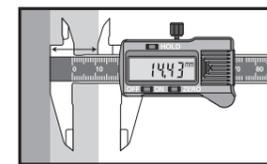
■外径測定

測定物を外側用測定面の中央で真直ぐに挟むようにしてください。



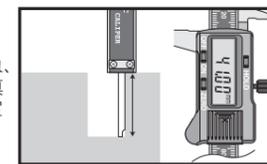
■内径測定

測定物を内側用のジョウを深く差し込み内側用測定面を真直ぐに密着させてください。



■段差測定

段差測定面をそれぞれ、被測定物の段差面に真直ぐに押しあてて測定してください。

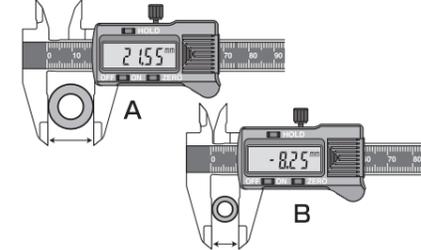


■深さ測定

デップス基準面を被測定物の基準面に真直ぐにあてデップスのニゲのある側を内面にあわせ、奥まで真直ぐに差し込んでください。

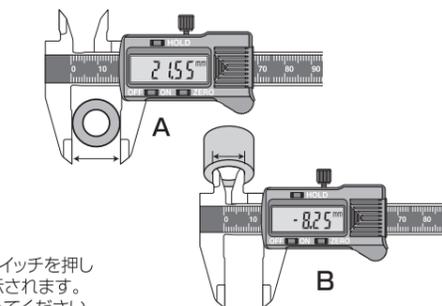
■比較測定

〈例1〉比較測定物の両方が、外径測定の場合



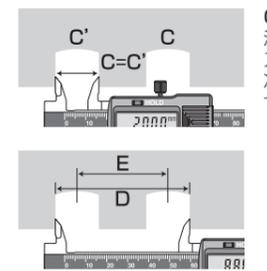
比較測定物Aをまず測定し、その測定値でゼロ(ZERO)スイッチを押します。次に比較測定物Bを測定するとAとBの測定差が表示されます。外径測定と内径測定の測定差を表示する場合も同様に行ってください。

〈例2〉測定物が外径測定と内径測定の場合



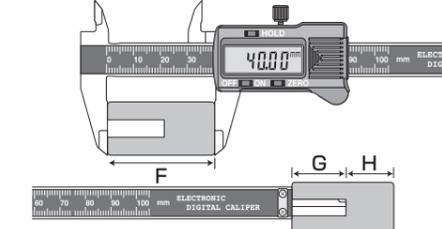
■間接測定

〈例1〉2つの同一径の穴の中心間の寸法と中心を測定する場合



Cをまず測定し、その測定値でゼロ(ZERO)スイッチを押します。次にDを測定するとEの寸法が表示されます。

〈例2〉穴の底面部分の厚みを測定する場合



Fをまず測定し、その測定値でゼロ(ZERO)スイッチを押します。次にGを測定するとHの寸法が表示されます。(マイナス表示になりますが無視してください。)